

《課程・学科等の紹介》

全日制課程

平日の昼間に、1日に6～7時間程度の授業を行う課程であり、修業年限は3年と定められています。学年制と単位制の学校に分類され、さらに、学校の特色・方針等によって普通科・専門学科・総合学科が設置されています。

普通科には特色あるコースが、専門学科には、専門分野に対応した学科が設置されており、また、総合学科では普通科目から専門科目まで、幅広い科目を選択して学ぶことができます。（詳細は次ページ以降に掲載）

定時制課程

働きながら学ぶことのできる課程で、修業年限は3～4年です。日課は、通常、夜間部は午後5時頃から9時頃まで、佐世保中央高校の夜間部エンカレッジコースは午後2時頃から午後7時頃まで、昼間部は全日制とほぼ同様の時間帯となっています。学科は、普通科のほか、工業技術科や商業科があります。もちろん、部活動や学校行事等もあります。

- 毎日、パン、牛乳等の給食があります（夜間部のみ）。
- 継続して収入を得ることができる職業に就いている者など、一定の要件を満たした者については、教科書が無償で支給され、また、修学奨励資金の貸与を受けることができます。

定時制課程のある学校

部	学科名		普通	商業	工業技術	建築
	学校名					
夜間部	県立	鳴滝 佐世保中央	○	○		
		島原、諫早、大村 五島	○			
		長崎工業			○	○
		佐世保工業			○	
昼間部		鳴滝 佐世保中央	○			

通信制課程

自宅での学習を中心に、レポート添削や毎月2～3回程度の面接指導等を受けて学習します。職場や家庭の仕事を続けながら教養を高め、高校の卒業資格を得ようと望む人、特に仕事の都合等のために毎日通学するのが困難な人に適しています。

■通信制の学習

自宅で、教科書や学習書等を使って自分で学習します。単位の修得のためには、次のような条件があります。

①報告課題（レポート）

科目ごとに、学校所定の報告課題（レポート）を決められた回数提出します。学校では、各レポートに担当の先生方が添削したうえで返却します。

②面接指導（スクーリング）

学校で決められた日に登校し、担当の先生から指導を受けます。面接指導は科目ごとに出席時間が定められています。また、面接指導には、LHRや学校行事等の特別活動の時間も含まれます。

③試験

科目ごとに定期試験（原則年2回）を受験して合格しなければ単位の修得ができません。

■ 願書受付期間：3月4日 ～ 3月28日

■ 入学者選抜：書類選考のみです。

■ 募集人員：各校300名

- 継続して収入を得ることができる職業に就いている者など一定の要件を満たした者については、教科書及び学習書が無償で支給され、また、修学奨励資金の貸与を受けることができます。

通信制課程のある学校

課程	学科名		普通
	学校名		
通信制	県立	鳴滝、佐世保中央	○

普通教育を主とする学科

普通教育を主とする学科として、これまでの「普通科」に加えて、令和4年度から松浦高校に「地域科学科」が設置されました。地域科学科については以下で紹介しますが、地域科学科でもこれまでの普通科と同様に、しっかりと普通教科の学びに取り組みます。

普通科・地域科学科での学び

普通教育を主とする学科で学ぶ教科としては、国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報等があり、それぞれの教科は更にいくつかの科目に分かれています。

普通教育を主とする学科では、これらの教科・科目を各学校が定めた教育課程に従って、必修教科(科目)と選択教科(科目)を含めて学習します。課程を修了した後は、大学・短大・専門学校へ進学したり、就職して社会に出たりと、その進路は様々です。

普通教育を主とする学科における特色ある教育

地域科学科

令和4年度から松浦高校に設置された地域科学科は、これまでの普通科の学びを基盤としながら、地域社会が持つ課題や魅力に着目した科学的・実践的な学びに取り組む全国初の新しい形の普通科です。

地域科学科では、普通科の教育課程を基盤とし、総合的な探究の時間を活用して自らのキャリアプランを構築しながら、それぞれのキャリアプランに応じた学びを実践します。こうした学びと、松浦高校が市や地元企業、大学などと連携・協働しながら実施している地域課題解決型学習「まつナビ・プロジェクト」を関連させながら取り組んでいくことで、社会の変化に対応できる能力を身に付け、自らの進路目標の実現を目指すことができます。



普通科 理系コース

理系分野への進路意識を明確に持つ生徒の夢をかなえることを目的として、長崎西高校に設置しています。



長崎西高校は文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業の研究指定を受けており、このコースでは、大学や研究機関と連携しながら「科学探究」など様々なミッションに挑む中で、語学力・発信力を磨き上げるとともに、探究的な学習に取り組んでいます。こうした教育活動を通して、科学的な関心を高めるとともに学問追究に必要な意欲と研究態度を育成し、課題解決能力の向上に努めています。

このコースには、多様な個性を有する志の高い生徒が集まってきており、互いが切磋琢磨し、研究者や医師、将来のイノベーションを支える技術者など各自が夢の実現に向けて努力しています。

普通科 グローカルコース

地球規模の視野で考え、故郷を愛し故郷に貢献しようとする若者を育成することを目的として、平成29年度から口加高校に設置しています。

口加高校では、次の3点を兼ね備えた生徒の育成を目指しています。

- ①地域が直面する課題等について主体的に学び、故郷を愛するとともに、課題解決の方策等について探究していく態度や意欲をもった生徒。
- ②グローバル化が進む中で、英語などによるコミュニケーション力や望ましい国際感覚を身に付けた生徒。
- ③グローバル化への対応を進めるため、大学で学ぶための基礎学力、論理的思考力、表現力等を身に付け、将来的に地域に貢献したり、地球規模的な視野に基づき人類に貢献できる生徒。



普通教育を主とする学科の募集を行う学校

課 程	学 校 名	
全 日 制	県立	長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、長崎北陽台、佐世保南、佐世保北、佐世保西、宇久、島原、諫早、西陵、諫早東、大村、猶興館、松浦、対馬、豊玉、上対馬、杵岐、五島、五島南、奈留、大崎、西彼杵、国見、小浜、口加、川棚、波佐見、北松西、上五島、中五島
定時制：昼間	県立	鳴滝、佐世保中央
定時制：夜間	県立	鳴滝、佐世保中央、島原、諫早、大村、五島
通 信 制	県立	鳴滝、佐世保中央

※長崎東高校は、普通科と国際科それぞれの個別募集ではなく、両科のくくり募集を行っている。

文理探究科

令和5年度から新たに長崎北高校、佐世保南高校、島原高校、大村高校、猶興館高校の5校に「文理探究科」が設置されました。文理探究科については以下で紹介しますが、理系・文系の枠を越えて、教科横断な探究型学習に協働的に取り組むことで、高い進路目標の実現を目指す学科です。

文理探究科のねらい

AIなどの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日においては、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決に結びつけていく能力が求められています。また、高大接続改革により、大学入試における総合型選抜や学校推薦型選抜の割合が大きくなるなど、高校時代に「何を学んだか」だけでなく、「どのように学んだか」も重視する選抜方法への移行が推進されています。

■ ふるさと長崎や世界の未来を拓くリーダーの育成

予測不能で変化の激しい社会に対して、自ら新しい知識を求めて学び、困難に果敢に挑戦する姿勢・態度、他者と協力して解決する力、科学的思考力や国際性を身に付けた人材を育てます。

■ 高い進路目標の実現 [大学進学重点学科]

しっかりとした教科学習に加え、自ら課題を発見し解決に取り組む探究型学習を充実させる事により、理系・文系を問わず、多彩な学問分野を学ぶ大学への進学や修学に必要な学力を育みます。

文理探究科の特色

■ 探究型学習の充実

実社会での問題発見・解決に生かしていくため、高等教育機関（大学など）、国際機関、国の機関、企業、NPO法人等と連携・協働し、教科横断的な探究型学習を充実させます。

■ 探究型学習を支える発展的な教科学力の養成

学習内容をさらに掘り下げ、より発展的な専門教科「理数」「英語」の科目や、学校が独自に設定する科目などにより、より発展的な教科学力を養成します。

■ 文理探究科独自の特色ある教育プログラムの実施

幅広い教養や豊かな人間性を持ち、知的総合力を備えたグローバル・リーダーを育成するため、体験的な学びや発表機会など、独自の特色ある教育プログラムを実施します。

探究型学習の取組

◆**探究型学習とは**、生徒自らが設定した課題の解決を目指し、知識・技能をベースに、思考力・判断力・表現力を総合的に活用しながら、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行うなど、主体的・協働的に取り組む学習です。

(手法例) 課題研究・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション・ジグソー法・ワールドカフェなど



文理探究科の募集を行う学校

課程	学 校 名	
全 日 制	県 立	長崎北、佐世保南、島原、大村、猶興館

農業に関する学科

農業科学科

バイオテクノロジーやコンピュータなどの先端技術を活用しながら、時代の流れに対応し、21世紀の農業を担う農業経営者を育てます。

また、農業機械、農業経営などを学習し、農業と関係の深い食品流通や機械関係など関連産業で活躍できる人材も育成します。



農業ビジネス科

2年生から「動物コース」、「野菜コース」、「果樹コース」の3コースに分かれ専門的な学習を行います。基礎・基本の学習から生産性の向上を目指す農業や地球環境に配慮した農業、さらには、安全・安心な農産物生産のための生産管理技術等について実践的に学び、地域農業者のリーダーを育成します。



生物生産科

野菜、果樹、草花の栽培技術や動物飼育についての基礎・基本を学び、実習を通して「生命の大切さ」を学びます。さらに、植物バイオ技術の基礎・基本を学ぶことも可能です。

また、充実した農業機械を活用した水田や飼料園での実践的な実習に加え、危険物取扱者、家畜商免許、アーク溶接特別教育修了等の資格取得も可能です。2年次から、「植物科学コース」と「動物科学コース」



に分かれ、専門的な学習を行います。地域農業の実態やニーズを十分に把握したうえで、農業者と連携した研究活動も行い、地域に貢献できるスペシャリストを目指します。

動物科学科

産業動物(牛、豚、鶏)や実験・愛玩動物(マウス、ハムスター、ウサギ)など動物に関する基礎知識を実験実習を通して、実際に家畜や動物に触れながら幅広く学び



ます。また、畜産物の加工やトラクタなどの農業機械についても学習し、その技術を生かした畜産経営者や動物関連の技術者及び上級学校進学のための学習も行います。県内各地から動物に興味・関心を持つ生徒や畜産業の後継者が集まっています。

環境創造科

人間の生活環境の創造を図るため、環境科学、ガーデニング、森林分野など、環境分野の体系的な教育を行います。

環境産業、緑化産業、造園など環境関連分野で活躍できる人材を育成します。



農業土木科

農業生産の基盤造成や農地の整備に関する分野を学習します。

在学中は、測量、水利、設計、土木施工、情報処理等の専門科目の基礎を学び、測量士補や土木施工技術者の資格取得が可能です。卒業生は、大学への進学や、全国各地の公務員、建設会社などで技術者として活躍しています。



バイオ園芸科

農科学技術の進展に対応するためバイオテクノロジーを専門的に学びます。ハイテク施設の中で、植物の品種改良や微生物実験等の学習を行います。さらに、草花の栽培、パソコンによる情報処理などを通して総合的な技術者を育成します。



卒業後は、4年制大学の農学部や工学部、短大、専門学校への進学者が多く、公務員、企業の研究員、農業経営者として活躍しています。

食品科学科

「食のパイオニア」を目指して、充実した施設でパン、ジャム、ソーセージなどの製造や、タンパク質、ビタミン、ミネラルなどの栄養素の分析方法について学びます。また、食中毒発生のメカニズムなどの衛生面やカビ、細菌などの微生物についても学習し、卒業



後は食品関係の大学、短大等への進学や、栄養士・調理師関係などの食品技術者や食品開発者の育成を目指します。

食品流通科

農産物の生産から加工、流通、販売、利用、消費に至るまでの一連の食品流通ルートについてトータルに学びます。また、作物やお茶などの栽培技術についての基礎・基本を学び、それらを活用した食品の製造・開発、パン・ジャム・ハム等の加工食品の製造について学習します。また、スクールマーケットにおける学習で、商品の仕入れ・商品管理・販売について実践的に学習し、さらにパソコンを活用して情報を適切に処理できる人材を育成します。



食品サイエンス科

食品の製造・加工・栄養分析について専門的に学びます。また、食品加工を学習するために不可欠な農作物(野菜・作物)の特性や栽培についても学ぶことで、食品分野の専門性を深めます。2年生からは、食品関連産業への就職を目指す「食品製造コース」と栄養士・調理師を目指す「食品栄養コース」に分かれ、食品のスペシャリストを目指します。



食料サイエンス科

地域農業の状況を踏まえた栽培分野(野菜・果樹)や、動物飼育・畜産分野、また食品製造分野について学びます。



2年生からは、野菜や果樹といった食料生産に関する知識を学ぶ「食料生産コース」、養豚を中心とした産業動物分野に加えて、愛玩動物の飼育技術を学ぶ「動物飼育コース」、パンやケーキなど、農業生産物を加工・製品化する実習や、販売に関する学習を行う「食品製造コース」に分かれます。

農業に関する学科の募集を行う学校

課程	学科名		農業科学	農業ビジネス	生物生産	動物科学	環境創造	農業土木	バイオ園芸	食品科学	食品流通	食品サイエンス	食料サイエンス	生活科学	生活創造	生活デザイン
	学校名															
全 日 制	県 立	島原農業		○								○			○	
		諫早農業	○			○	○	○	○	○				○		
		北松農業			○							○		○		
		西彼農業												○		○

生活科学科

私たちの生活に直結した衣・食・住、保育、家庭経営、福祉や環境などについて学習します。調理実習や被服製作、保育・介護体験学習のほか、外部講師を招いて専門性を高める学習を行います。また、被服・食物の技術検定やワープロ検定などの資格取得にも積極的に取り組みます。



生活創造科

家庭科の学習を基本として、福祉や看護、保育などを学び、さらには現代生活で求められる「癒し」や「セラピー」に通じる園芸(草花)の分野についても学習します。2年生からは、「福祉・看護コース」または「ライフデザインコース」を、自分の希望進路に応じて選択し、ヒューマンサービス分野、生活産業分野でのスペシャリストを目指します。



生活デザイン科

草花生産及びそれを活用する園芸分野と、家庭科教育(福祉・服飾)を有機的かつ効果的に融合し、時代に適応した生活創造の知識技術を学びます。



2年生からは、草花栽培を基礎として、地域貢献活動や栽培した生産物を利用したフラワーデザイン技術を習得する「園芸デザインコース」、乳幼児のからだや心、高齢者の介護についての学習を基に、現場での実習を行う「生活と福祉コース」、洋服・和服関係の服飾デザイン分野を学習し、また技術検定取得に取り組む「ファッションコース」に分かれます。

工業に関する学科

機械科

ものづくりのための設計、製図、機械工作等の基礎科目から、原動機やコンピュータによる機械制御まで、機械に関する広範囲な学習活動を展開します。



また、実験・実習を通して専門的な知識と技術・技能を習得し、製造業の第一線で活躍できる人材を育成します。

電子機械科

機械に関する基礎的な知識・技術を学ぶとともに、電子・情報技術に関する内容も学習します。また、これらを組み合わせ応用したメカトロニクス技術を、実験・実習や製作を通して学び、技術が進展する工業の各分野に対応できる人材を育成します。



機械システム科

【長崎工業 電子機械コース】



機械に関する基礎的な知識・技術、コンピュータや制御技術についての学習活動により、メカトロニクス技術に対応できる人材を育成します。

【長崎工業 造船コース】

全国でも数少ない造船を学ぶことができるコースです。船舶及び機械に関する諸計算や構造等の基礎を学び、さらに造船や機械に関する知識・技能を「ものづくり」を通して身に付けることができ、多様な進路への対応が可能です。



【大村工業 島原工業 機械システム科】



機械に関する基本的な知識・技術の習得に加え、それらを制御する技術（シーケンス制御・NC制御・CAD/CAMなど）の基礎について学習し、高度生産システムに柔軟に対応できる機械技術者の育成を目指します。

電気科

電気をつくり、送り、使うための基礎的な理論を学ぶとともに、実験・実習を通して理解を深めます。さらに、国家資格取得等にも積極的に取り組むとともに、専門的な知識・技術・技能を習得し、電気設備に関する設計・管理運用等、電気技術者として様々な分野で活躍できる人材を育成します。



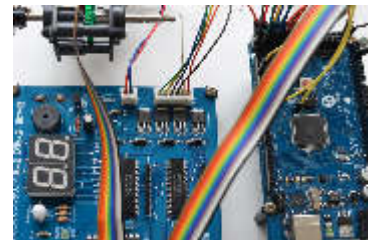
電気情報科

めざましい進歩を遂げている電気・電子、そして情報関連分野を広く学ぶとともに、実験や実習を通して専門的な知識と技能を習得し、多様な分野で活躍できる工業技術者を目指します。また、電気技術者や情報技術者の国家資格の取得も可能で、新しい技術にも対応することができます。



電子工学科

電気理論、トランジスタやICを用いた電子回路等の基礎的な学習に加え、通信・制御やコンピュータについての学習を行います。実験・実習により更に理解を深め、電子機器や通信機器の設計・製造ができる実践的な学習活動により、電子技術立国を支える技術者を育成します。



電気電子科

電気の供給及び発電機や電動機の仕組みに関する内容に加え、デジタル技術やアナログ技術の基礎・基本など、電気を作る（発電）・送る（送電）・配る（配電）・使う（電子機器）までを学習し、実践的な電気電子技術者を育成します。



電気工事士や陸上特殊無線技士、各種工事担任者の資格にも取り組み、電気工事業や通信事業、半導体・情報通信機器製造業への就職を目指します。

情報技術科

電気の基礎科目とコンピュータのハードウェア、ソフトウェア及び通信制御システムについて学習し、さらに実験・実習を通して知識・技術・技能を習得できます。システムエンジニアなど、変化の激しい情報通信社会に対応できるコンピュータ技術者を育成します。



土木技術科

調和のとれた国土の開発と保全を基本理念として、土木工事に必要な設計・測量・施工などの技能・技術を安全教育の骨格として習得させるとともに積極的に資格取得を支援し、実践技術者の育成を目指した教育を展開します。



建築科



建築全般についての基礎理論の学習、さらに設計・製図を通して基礎理論の統合を図り、実践的な能力を育成します。また、実験・実習を通して理論の理解を深めるとともに、設計や施工に必要な技術を習得し、建築物の設計や、建設工事現場の管理ができる人材を育成します。

設計や施工に必要な技術を習得し、建築物の設計や、建設工事現場の管理ができる人材を育成します。

建築技術科

建築の設計技術、施工技術に加え、土木技術に関する知識や技能を習得し、地域のニーズに応える建築技術者を育成します。特に建築 CAD 学習に力を入れ、男女を問わず活躍できる技術者の育成にします。



土木科



道路など社会基盤をなす土木の工事に必要な調査・企画・設計・施工の基礎的知識・技術を学び、更に近年の土木技術の進歩に適応し、土木工事の施工監理ができる中堅技術者を育成します。そのため、実習では測量、施工に重点を置き、現場で役立つ実践的な能力を育成します。

そのため、実習では測量、施工に重点を置き、現場で役立つ実践的な能力を育成します。

建設工業科



市民生活に直結した土木技術の基礎的な学習に加え、土木工事に機械工法を取り入れた実習を行うなど、実践的な学習活動を行うとともに、資格取得にも力を入れ、工事の工程が科学的に管理でき、勤労意欲に富み、責任感にあふれた土木技術者を育成します。

工事の工程が科学的に管理でき、勤労意欲に富み、責任感にあふれた土木技術者を育成します。

化学工学科

化学物質や化学工場に関連した基礎的な知識を身に付けるとともに、水性ワックス製造プラントの実習等を通して、反応操作、機器分析、計測制御、化学装置、工場管理などの技術が習得できます。化学工場や工業の各分野における運転・管理、環境保全、研究開発等ができる技術者を育成します。



工業化学科

化学工業は、いろいろな物質を作り出し、私たちの生活や環境及び新しい工業技術を支える重要な産業です。製造化学の基礎理論に加え、実験・実習を通して合成、分析、試験、管理、開発等、化学工業に関連する広範囲の知識・技術が習得できます。物質を扱う幅広い分野で活躍できる実践的技術者を育成します。



商業に関する学科

商業科

企業の経営活動に必要な知識を学び、利息計算など経理事務を担当するための学習、企業の取引を記録する簿記の学習、営業・販売・接客を担当するための対応マナーの学習を行います。パソコン等を用いた実習など、ビジネスの場で活躍できる実践的な学習を行います。



情報処理科

情報化社会の中で活躍できるよう、コンピュータの基礎知識の習得やいろいろなソフトの活用法を学んだ後で、自らソフトウェアを作ったり、絵や音声などを扱うマルチメディアの技術やインターネットをはじめとする情報通信ネットワークなどについて学習します。

また、ビジネスに関する基礎・基本や簿記等も学び、コンピュータを道具としてビジネスに活用できることを目指します。



会計ビジネス科

会計学を深く学び、簿記会計の高い専門性を習得させるとともに、卒業後に企業で即戦力として通用する人材の育成を目指します。そのため2年次から、二つのコースに分かれます。「会計コース」では上級の税理士科目合格に繋げるための学習を行います。「オフィスコース」では、日商簿記検定3級を目指し、地元企業で経理事務を担当できる知識を身に付ける学習を行います。



情報マーケティング科

情報を活用する基礎的な技能とともに、情報システムの開発等に関する知識と技能を習得させ、地元企業の営業販売職として、ビジネスに主体的に携わる生徒を育成します。



2年次からは二つのコースに分かれます。「情報コース」では、プログラミングなどの学習により、経済産業省主催のITパスポート試験や情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験等の合格を目指し、情報システムの開発を行える人材の育成を目指します。「マーケティングコース」では、簿記や情報処理の知識と技術を基本として、販売士検定2級等の合格を目指すとともに、地元の商工会議所や企業と連携して商品開発や販売実習などを行い、地域経済の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

総合ビジネス科

「商業」の学びに、「観光」の学びを取り入れた学習を行うことで、対人スキルやビジネスマナーを身に付け、2年次から、「情報ビジネスコース」と



「会計ビジネスコース」に分かれます。両コースとも「韓国語」の授業を行います。

「情報ビジネスコース」では、ビジネス文書やビジネス情報、Webページの作成等といったICT活用スキルを習得し、情報処理などの資格取得を目指します。「会計ビジネスコース」では、簿記や電卓といった会計スキルを習得し、簿記等の資格取得を目指します。

商業に関する学科の募集を行う学校

課程	学科名		商業	情報処理	会計ビジネス	情報マーケティング	総合ビジネス
	学校名						
全 日 制	県	松浦、対馬、波佐見、 諫早商業	○				
		島原商業 壱岐商業	○	○			
	立	佐世保商業			○	○	
		小浜					○
定時制	県立	鳴滝、佐世保中央	○				

水産に関する学科

水産科

水産に関する資格取得を目指すなど明確な進路希望を持つ生徒に対し、海技士類型・管理類型の2類型に分け、よりきめ細かな教育を行い、水産業界で活躍できる人材の育成を目指します。



水産に関する学科の募集を行う学校

課程	学科名		水産
	学校名		
全日制	県立	長崎鶴洋	○

家庭に関する学科

家政科

調理実習や被服製作、パソコン実習のほか、保育所や幼稚園、高齢者施設等を訪問して保育や福祉の学習をします。また、食物調理・被服・保育の技術検定(1～4級)合格を目指すなど、将来の希望進路等に向けて腕を磨きます。

進路に応じた教育課程を編成しており、卒業生は就職だけでなく国公立大学をはじめとした希望の大学や短大、専門学校等にも多数進学しています。



生活総合科

男女共同参画社会の進展を踏まえ、従来の「衣・食・住」の学習に加えて、家族・保育・福祉について幅広い知識や技術を学び、また、これらを生かして多くの体験学習を行います。総合的に生活を営む能力と生活産業の各分野で活躍できる人材の育成を目指します。



家庭に関する学科の募集を行う学校

課程	学科名		家政	生活総合
	学校名			
全日制	県立	大村、島原商業	○	
		川棚		○

看護に関する学科

衛生看護科

五島高校の衛生看護科は、県内の公立高校で唯一の准看護師を養成する学科です。授業は共通科目と専門科目のほかに病院実習があります。

五島高校の衛生看護科は、寄宿舍（男子寮、女子寮）もあるため、県内各地から仲間が集まってきます。

3年生で資格試験に合格すると准看護師の免許が得られます。さらに、看護専門学校等に進学すると、2年間で看護師の免許を取得することができます。



看護に関する学科の募集を行う学校

課程	学校名		学科名	衛生看護
	県立	五島		
全日制	県立	五島		○

情報に関する学科

情報科

IT（情報技術）を活用するための知識と技術を学び、社会の中でITが果たしている役割や影響を理解することなどにより、情報化の進展に十分に対応できる能力と資質を育成します。特に、3年次には映像や画像などのマルチメディア関係の実践的な授業を重視し、将来のクリエイターの育成を目指します。

情報に関する学科の募集を行う学校

課程	学校名		学科名	情報
	県立	諫早商業		
全日制	県立	諫早商業		○

また、情報に関する国家資格（ITパスポート、基本情報技術者、応用情報技術者）取得にも十分対応できるような教育課程を準備しています。国家試験に合格することで、高校生としては、情報技術者として最高の評価を得ることができ、大学の進路選択でも有利になります。



福祉に関する学科

福祉科

福祉科では、高齢や障害等により不安を感じて生活している方々に対して、心身の状態に応じた温かで適切な介護を提供できる介護の専門職として、福祉サービスを提供するための知識・技術を実習などを通して学び、豊かな心を身に付けます。進路は福祉施設への就職を中心に、福祉系の大学・短大・専門学校への進学が考えられます。また、「介護福祉士国家試験受験資格」を取得できる学科です。



福祉に関する学科の募集を行う学校

課程	学校名		学科名	福祉
	県立	口加		
全日制	県立	口加		○

美術に関する学科

美術・工芸科

波佐見高校には、全国でもめずらしい、県立高校唯一の美術・工芸科を設置しています。陶芸の制作とそのデザインのみならず、美術・デザイン・工芸に関する専門的な知識・技能を少人数のゼミ形式で学びます。また、豊かな感性と創造性を育成します。



美術に関する学科の募集を行う学校

課程	学校名		学科名	美術・工芸
	県立	波佐見		
全日制	県立	波佐見		○

外国語に関する学科

国際コミュニケーション科

国際化の進展を背景に、広い視野を持って文化を理解し、異なる文化を持った人々と進んで交流し、ともに生きていく資質や能力を身に付けた人材の育成を目指します。「総合英語」や「英語表現」、「異文化理解」など3年間を通じて専門科目を計画的に学び、確かなコミュニケーション能力の育成を図ります。また、第2外国語として、中国・韓国講師や指導助手とともに学ぶ中国語・韓国語の履修も可能です。



国際文化交流科

韓国の言語や歴史・文化について専門的に学び、韓国の人々との交流を通して異文化を理解し、国際社会に貢献できる人材を育てます。韓国人講師による少人数授業や、韓国語や対馬・韓国に関する学びを充実させ、韓国語を生かした税関や長崎県警察等への就職、韓国の大学及び韓国語が学べる国内の大学への進学を目指します。



外国語に関する学科の募集を行う学校

課程	学校名		学科名	国際コミュニケーション	国際文化交流
	県立	佐世保商業、諫早商業		○	
全日制	県立	対馬			○

国際関係に関する学科

国際科

望ましい国際感覚を有し外国語コミュニケーション能力を備えたグローバル人材育成のために、長崎東高校に設置されました。また、平成 27 年度から令和元年度まで文部科学省の SGH(スーパーグローバルハイスクール)に指定され、令和 2 年度には文部科学省から WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業のカリキュラム開発拠点校に指定されました。

国際科は、専門教科英語をベースに、英語運用能力を身に付けさせるだけでなく、歴史・文化・民族や科学など幅広い分野で国際社会を理解するための教育課程を編成しており、大学受験等においては、普通科同様に文系、理系両方の進路選択をすることができます。

また、CALL 教室や英語ルーム、タブレット端末といった最新の語学環境を整備し、積極的に ICT を活用し、スピーチ力やプレゼンテーション力など英語による「発信力」を磨く教育を行っています。

CALL教室のパソコンには、大学入学共通テストの英語問題やリスニング問題を演習したりできる教材等を入れており、各生徒が、それぞれの習熟度にあわせて希望する問題等にチャレンジできるようにしています。昼休みや放課後、休日の自主学習も十分にできるようになっています。

高校入試で「くくり募集」を実施し、1年次は国際科と普通科混成の均質の7クラスとなり、2年次から国際科と普通科に分かれます。



国際関係に関する学科の募集を行う学校

課程	学校名		学科名	国際
	県立	長崎東		
全日制	県立	長崎東		○

※長崎東高校は、普通科と国際科それぞれの個別募集ではなく、両科のくくり募集を行っている。

総合学科

総合学科は、普通科と専門学科を総合した第三の学科として誕生しました。普通科目から専門科目まで、幅広いたくさんの科目が用意されており、自分の勉強したい科目や進路希望に応じた科目を選択して学ぶことができる学科です。

総合学科の特徴

総合学科は単位制をとっています

総合学科は、単位制をとっています。これは、卒業までに所定の単位を修得すれば卒業できるシステムです。

自分で時間割を作ります

普通科目から専門科目まで、幅広い科目を数多く用意しています。

多様な学習形態が用意されています

ゼミナールや討論形式の授業、職場見学や実習等の体験学習、民間講師による講義、問題解決型の学習等、様々な学習形態を積極的に取り入れています。

進路への自覚を深める学習が充実しています

履修科目「産業社会と人間」や科目選択及び進路指導を通して、自分の生き方についてよく考え、将来の職業選択や職業生活に必要な態度や能力を育てる教育を重視します。



総合学科での学習

総合学科で学習する科目は、次の4種類で構成します。

必修修科目	全ての高校生が必ず学習しなければならない科目（数学Ⅰ、体育など）です。
履修科目	総合学科の中で必ず学習しなければならない科目の一つに、「産業社会と人間」という科目があります。将来の進路選択や履修科目選択のガイダンスとなる科目で、多くの人々の有意義な話や企業見学等により進路に対する自覚や理解が深まり、生徒には大変好評です。（原則として、1年次に履修します。）
総合選択科目	開設するたくさんの選択科目は分野別にまとめられており、それらを「系列」と言います。自分の進路希望にかなった「系列」の科目を選択していけば、その分野の力が身に付くように科目が用意されていますが、他の「系列」からでも科目は自由に選択できます。総合学科のある学校の「系列」は、下の表を参考にしてください。
自由選択科目	総合選択科目以外の選択科目で、学校独自の特色ある科目や、就職、進学に必要な発展的な内容の科目等を用意しています。

総合学科の募集を行う学校

課程	学校名	総合選択科目群（系列）	
全 日 制	長崎 県 立	長崎鶴洋	進学系列、機械系列、情報ビジネス系列
		長崎明誠	文・理進学系列、医療・福祉系列、健康・保育系列、情報ビジネス系列、芸術・文化系列
		佐世保東翔	人文・科学系列、ビジネス系列、生活・福祉系列、芸術文化系列
		大村城南	人文自然系列、情報ビジネス系列、食料科学系列、環境デザイン系列、福祉系列、生活系列
		平戸	人文メディカル系列、情報ビジネス系列、福祉生活系列
		五島海陽	人文・自然系列、情報・ビジネス系列、生活総合系列、地域振興系列
		島原翔南	進学・メディカル系列、公務員・ビジネス系列、福祉・保育系列、実践・教養系列
清峰	人文・科学系列、人間コミュニケーション系列、情報ビジネス系列、社会・文化系列、生活・福祉系列		

単位制高校

単位制高校とは…

第1学年、第2学年等の学年の区分がなく、原則として入学から卒業までに決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校、それが「単位制高校」です。ただし、学校によっては、学年で必要な修得単位数を設定しているところもあります。



単位とは…

例えば「数学Ⅰ」の授業を週に3時間（50分授業の3回分とします）の授業を1年間（約35週分）受けた場合、「3単位の授業の履修」となります。

つまり、「1週間あたりの授業時間数」を「単位数」と大まかに考えることができます。学校によって、授業時間や科目の開設時期が異なる場合がありますので、「50分×35回」分の授業を「1単位」と理解してもよいでしょう。

長崎県で単位制をとっている学校は…

- 平成12年4月に開校した鳴滝高校の定時制昼間部、定時制夜間部、通信制の課程
- 単位制高校として長崎県で一番長い歴史を持つ佐世保中央高校の定時制昼間部、定時制夜間部、通信制の課程
- 総合学科をもつ長崎鶴洋高校、長崎明誠高校、佐世保東翔高校、大村城南高校、平戸高校、五島海陽高校、島原翔南高校、清峰高校
- 大学等への進学を目指す全日制普通科の佐世保西高校、西陵高校
- 平成30年度から離島留学制度を導入した五島南高校

中高一貫教育

中高一貫教育とは…

中高一貫教育は、中・高等学校の6年間を通じた継続的な教育活動により、一人一人の個性を重視した教育の実現を目指すものです。

長崎県では、次の各学校で中高一貫教育が行われています。

①中高一貫教育（平成13年度から）

- 宇久地区（県立宇久高校、佐世保市立宇久中学校）
 - 奈留地区（県立奈留高校、五島市立奈留中学校）
 - 小値賀地区（県立北松西高校、小値賀町立小値賀中学校）
- ※上記地区では、平成20年度から中高一貫教育に小中一貫教育を加えた小中高一貫教育を実践しています。

②連携型中高一貫教育

- 大崎地区（平成25年度から）
（県立大崎高校、西海市立大崎中学校）
- ※大崎高校の敷地内に、西海市立大崎中学校が開設され連携教育を行っています。

●上対馬地区（平成26年度から）

- （県立上対馬高校、対馬市立比田勝中学校・佐須奈中学校）
- ※上対馬高校は、二つの公立中学校と連携教育を行っています。

③併設型中高一貫教育

- 長崎地区（平成16年度開校）
（県立長崎東高校、県立長崎東中学校）
- 佐世保地区（平成16年度開校）
（県立佐世保北高校、県立佐世保北中学校）
- 県央地区（平成23年度開校）
（県立諫早高校、県立諫早高校附属中学校）

中高一貫教育にはこんな特長があります

①6年間の計画的・継続的な学習

自分の興味や関心、進路希望に沿って、6年間をかけて継続的に学習することができます。また、中学校と高等学校の先生が協力して学習や学校生活をしっかりと支援します。

②幅広い年齢層による交流

体育祭や文化祭における中・高合同による企画や開催、部活動における中・高校生の合同練習など、幅広い年齢層での交流活動により、豊かな人間性を育むことができます。